

小島地区ふれあいセンターだより



令和7年6月 第420号 運営委員会発行

愛宕3丁目10-2 電話826-7703



6月の行事予定

※毎週月曜日は休所日です。

開催日	行事名
3日(火)	小島地区ふれあいセンター運営委員会 午前10時～11時
4日(水)	すこやか運動教室(生涯元気事業) 午前10時～12時
6日(金)	子育て教室 午前10時～11時30分
11日(水)	小島愛宕地区老人連合会定例会議 午前10時～11時
18日(水)	すこやか運動教室(生涯元気事業) 午前10時～12時
25日(水)	小島地区連合自治会連絡会議
28日(土)	小島地区民生委員児童委員協議会定例会 午前10時30分～12時

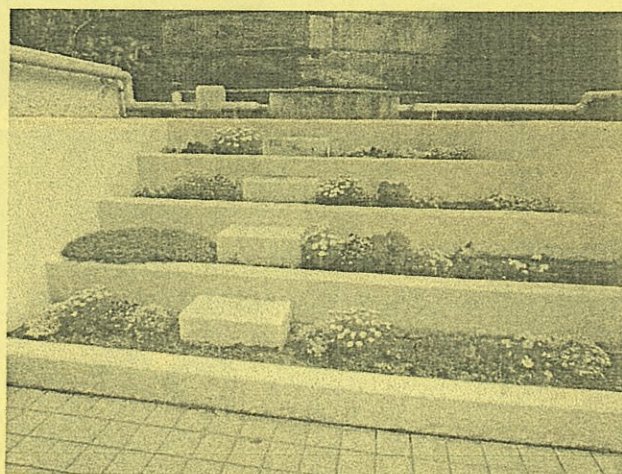
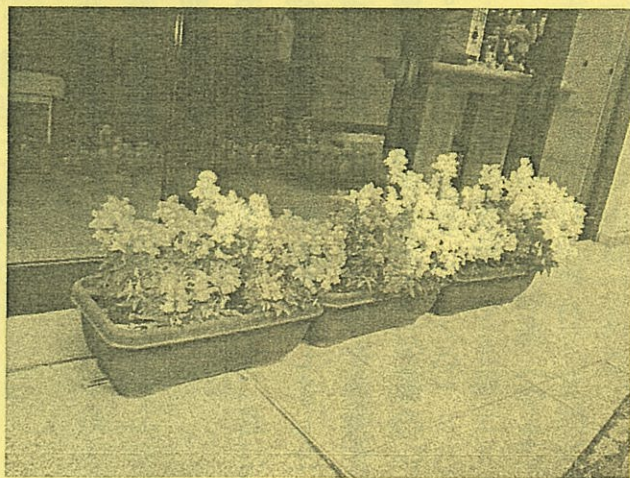
花に癒されながら楽しく活動しましょう

小島地区ふれあいセンターでは、利用者の皆様に、楽しみながら施設を御利用いただきたいとの思いで、花のある環境づくりを心がけています。

正面入口前のプランターには、寄せ植え風に花を植えています。

又、児童図書館の外側の花壇には、階段状に草花を植えています。

ふれあいセンターにお越しの際は、花を御覧になり、楽しまれてはいかがでしょうか。



江戸町から立山役所まで③

○町年寄・高木家屋敷跡(長崎地方裁判所)
高木家は、明治5年(1872)に行なわれた明治天皇の長崎行幸のとき、ご在所として使われ、この時、市民はこの下に集まり、天皇を称え万歳をしました。その後、島原町は萬歳町に改称され、昭和38年に現在の万才町となっています。

○町年寄・後藤家屋敷跡(長崎地方検察庁)

江戸時代の町年寄、後藤家の屋敷がここに有りました。明治維新を迎え、町年寄の制度は廃止されました。

○一の堀跡(初代奉行所跡地)

文禄元年(1592)6か町の外側、現在のNTT(万才町)に長崎奉行所が置かれました。初代奉行の寺澤志摩守広高は当時の外敵、深堀氏や西郷氏(諫早)に対抗し、奉行所を守るため、南側と北側に堀を設置しました。南側の堀が「大堀」で現在の住友生命ビルと明治安田生命ビルの間。北側の堀が「小堀」で現在の長崎腎病院から興善町交差点、長崎南社会保険事務所までの通り付近に造られています。

この堀は、江戸時代には埋め立てられ、大堀跡は本博多町に組み込まれ、小堀跡は堀町と命名されました。

○ミゼリコルディア本部跡(長崎地方法務局)

ここは日本初の民間社会福祉事業を行なった組織で、ミゼリコルディアとはラテン語で慈悲という意味で、同本部は教会に付属した慈善事業本部といわれています。

天正11年(1583)日本人キリシタンのジュステイノ・ジュスター夫婦が開設。公会堂、慈恵病院、孤児老人施設なども設置されました。

慶長19年(1614)禁教令で教会部は破壊されましたが、施設は慈善事業で、元和5年(1619)まで継続しましたが、最終的に破壊されました。

○幕末モニュメント

平成22年(2010)3月に完成しました。所縁のある場所に4つ設置されています。

①土佐商会跡(長崎市浜町)「海援隊旗と夕顔丸」

②小曾根家宅跡(長崎市万才町)「お龍さんと月琴」

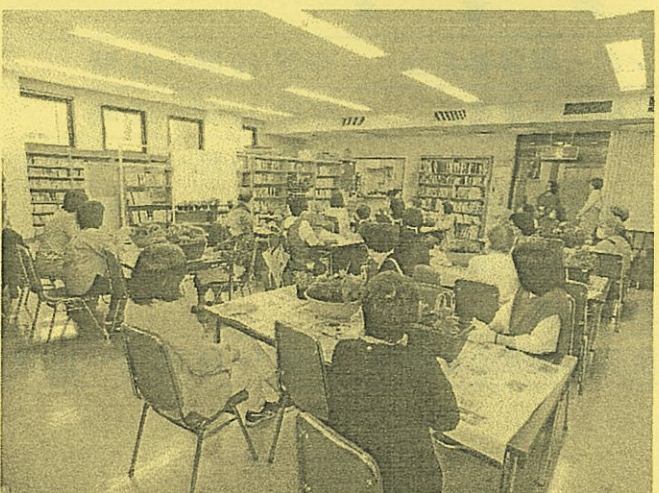
「春の園芸教室」講座について

四月二十六日(土)に、小島地区ふれあいセンターの主催講座として、講師の沖迫司先生(フラーワおきさこ代表)による「春の園芸教室」を開催しました。

テーマは「寄せ植えの基本・花苗を植える」で、二十四名の方が参加されました。

寄せ植えには、サルビア、アサギリソウ、ペチュニア、バーベナ、ガザニア、ベゴニア、ロベリア、ポーチュラカ、メランポジウムなどの花が用いられました。

参加者の皆さんは、和気あいあいと楽しそうに、美しい春の花の寄せ植えをされました。



「小倉百人一首」を読み解く 竹方其

四番歌(山部赤人)

田子の浦にうち出でてみれば白妙の富士の高嶺に雪は降りつつ

〔語訳〕

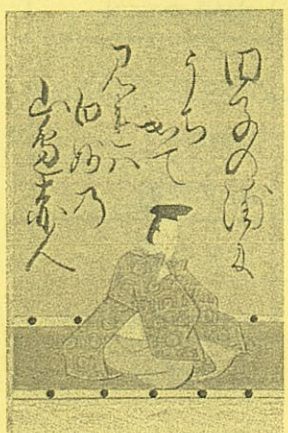
東国へ赴任する途中、富士山の見える田子の浦までやってきた。はるか向うを仰いで見ると、はるか神々しいばかりの富士の霊峰が、まるで真っ白な布のように雪をかぶった姿で雄大に聳えている。さらに頂上には今もしきりに雪が降りつついている。

〔留意点〕

万葉集では「田子の浦ゆうち出でてみれば真白にそ富士の高嶺に雪は降りける」とある。「白妙の」は布の白さにたとえた表現。

「真白にそ」では直接的に雪の白さを言っている。「降りける」も「降ってるなあ」というような、今初めて気がついたと感動を示す表現になっている。万葉集の方が素朴である。

・山部氏は順宗、仁賢両天皇の受難時代に奉仕した功により井豫目部小楯(いよのくめべのおだて)が山部連(やまべむらじ)の姓を賜ったのはじまる。山林の管理などを職とした地方豪族で、天武天皇十二年(六八三)宿禰(すくね)となった。
・この当時の富士山は活火山で噴煙をあげているのに一言もいつてない。火山の噴煙は恐ろしいイメージを想起させる。それを除くことで世の平和を日本の平和を祈った。

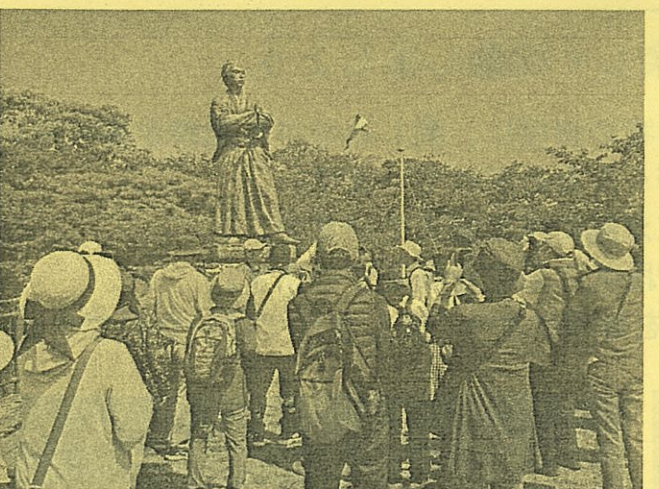


「春の歴史探訪」講座について

五月三日(土)に、小島地区ふれあいセンターの主催講座として、ガイドにテレビ等でお馴染みの山口広助さんをお迎えして「春の歴史探訪」を開催しました。

天候にも恵まれて、参加者及びスタッフ四十二名は、風頭山バス停に集合して、若宮稲荷神社界隈を散策しました。

参加者の皆さんは、ガイドの山口さんの分かりやすい地形の案内や、歴史の紹介を興味深く聞きながら、午後のひとときを楽しく過ごされました。



〈新着図書のご案内〉



	書 籍 名	著 者 名	出 版 社
一 般 図 書	関西から行く温泉旅	—	京阪神エルマガジン社
	ぱっと見わけ観察を楽しむ野鳥図鑑	石田 光史	ナツメ社
	大山まいり	岡本 さとる	祥伝社
	京都伏見恋文の宿	花房 観音	実業之日本社
	人生の最後に間違えない生前整理と手続きがぜんぶわかる本	関根 俊輔	新星出版社
	ゴジラ vs. 自衛隊 アニメの「戦争論」	小泉 悠	文藝春秋
	しらゆきの果て	澤田 瞳子	KADOKAWA
	南北相克	芝村 凉也	双葉社
	領地の乱	佐々木 裕一	二見書房
	乱れ坊主	佐々木 裕一	二見書房
	黄泉の女	佐々木 裕一	二見書房
	漂着うつろ舟	幡 大介	双葉社
	大統領の密書	幡 大介	双葉社
	雪の名前	高橋 順子	小学館
	世界 99 上	村田 沙耶香	集英社
	世界 99 下	村田 沙耶香	集英社
	30 事例から学ぶ不動産のプロだからできる親と子どもを幸せにする相続	不動産相続の相談窓口	現代書林
	なぜ働いていると本が読めなくなるのか	三宅 香帆	集英社
	ここまるのリアル色えんぴつ教室	ここまる	誠文堂新光社
	若さま九郎と岡っ引弁慶	聖 龍人	コスミック出版
	上方みやげ	倉阪 鬼一郎	二見書房
	小鳥とリムジン	小川 糸	ポプラ社
	絵馬と脅迫状	久坂部 羊	幻冬舎
	つながる、知る、得する 70 歳からのスマホ活用術	増田 由紀	主婦の友社
	老後に備えるもっとも確実な資産運用術	伊藤 武	PHP エディターズ・グループ
児 童 図 書	とーんだとんだ	中川 ひろたか	Gakken
	へビのひみつ	内山 りゅう	ポプラ社
	チリとチリリさくらのおはなし	どい かや	アリス館
	デザートれっしゃ	はまぐち かな	ひさかたチャイルド
	こども「友だちとのつきあい方」	相川 充	カンゼン